

平成13年1月1日

第13号

〒川崎市シルバー人材センター

川崎市川崎区堤根34番地19

電話 044(222)1550

シルバー

かわさき

頌 春



(オオハクチョウ 於 宮城県伊豆沼)

年頭のご挨拶

理事長 大橋 為 宣

二十一世紀の初春をお祝いいたします。

皆様には、ご清祥にて新年をお迎えになったことと拝察いたしております。今年もよろしくお願い申し上げます。

当センターの業績は、相変わらず厳しい経済環境ですが、多少ながらも上昇中です。これは会員の努力と市民や地域企業および公共関係機関の暖かいご支援の賜物です。

ここに厚くお礼申し上げます。

今年も昨年以上に厳しい状況と予想しておりますが、会員の培った豊富な経験が更なる業績へと結び付くものと堅く信じております。

当センターは、こぞって生涯現役の一翼を担いつつ、併せて、次世代へもなにがしかの貢献をいたしたいものと存じます。

何卒、市民や企業および関係機関の皆様には当センターへも倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

新年のご挨拶

事務局長 櫻井 正雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新世紀をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、少子・高齢社会を迎え労働人口が低下していくなかで、高齢者のおおよそ9割は健康で就労意欲は高く、能力も豊富な経験もあり、就業、生涯学習余暇活動などのさまざまな分野に参加する人も多くおり、元気で生きがいを持つことを望んでいます。

それらの一つとして、『就業による生きがい』を求める方々の働く意欲、希望職種や体力等に応じた受け皿としてシルバー人材センターがあります。センターは会員同志が「仕事を分かち合い」「お互いに助け合う」ことを基本に、地域から仕事を受注しており、会員の能力が発揮でき、健康維持の源にもなると考えています。

より一層、地域社会と密接なかかわりをもつことに努めるとともに、就業を通じて会員に『生きがい』が見出せる『活力あるセンター』に発展するため、関係する皆様方および会員の方々のご協力をお願い致します。

就業開拓員としての 6ヶ月間の活動について

就業開拓専門員 真野繁太郎

就業機会開拓専門員を前回(平成11年8月～12年3月)に引き続きの二度目(平成12年4月～12年9月)の任となりました。スタート時は春爛漫、しかし各企業を回って、前回より一層の不況感が否めませんでした。

応接室に通されじっくり話し合えた所は期待がもてるが、事務所や店頭先で立ち話になる場合は、可能性が薄いものです。なかでも孫請けしている中小の電機製作会社、プラスチック加工会社では、低賃金の東南アジアに受注がとられ、中には社長一人とか、数人でひたすら仕事をしていたり、倒産して社屋だけが残っているなど、景気低迷している日本の縮図を見たようで侘びしいものがありました。

そして、訪問先の精密機器関連会社では、目が良くないと高齢者には無理な仕事内容ではないかとか、惣菜店やビル管理会社では、最近採用したばかりだから人手は余っているなどと、なかなか受注に結びつきませんでした。

また、シルバー人材センターは会員を決めるのに時間を要すること、また常用はできないこと等々センターの仕組みに理解を深めてもらうのにも苦心いたしました。

猛暑の折、寺院を訪問した際に住職がよく冷えた清涼飲料水

をくださるなど、センターに好意的な一面を見、専門員として改めてこの仕事をして良かったと思いつつ山門をあとにしました。

家事援助コーディネーターになって

家事援助コーディネーター 佐野 公子

シルバー人材センターの家事援助コーディネーターという仕事を頂いた時、介護福祉士といっても、ただのおばさんヘルパー、どれだけのことができるか自分自身非常に不安でした。

北部事務所に配属になり、所長はじめ職員の皆さんが素敵な方たちで、とても優しく接してくださいました。また、同時にお客様と会員さんとの面談に同行させていただき、いろいろな素晴らしい出会いがありました。コーディネーターはその出会いを作るのが主な仕事ですが、多くの人の出会いに立ち会うことができ、皆さんから元気なパワーを分けていただき、年をとるのもいいな、こんな生き方もいいなと思えるようになりました。

麻生区民まつり等いろいろな行事にも参加し、会員の皆さんと一緒に働いてみて、そのパワー、口も達者、手も達者、生き生きとした姿に圧倒され感動しました。

半年の短い期間で、心残りがたくさんありますが、シルバーの職員の皆様、会員の皆様に心からお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

各種講習会終了

植木、ビルクリーニングの基礎的知識と技能を学び就業に役立てる為の講習会を次のとおり開催しました。

(1) 植木講習会

十一月九日から十七日まで県立向の岡工業高校とサンライフ川崎で開催しました。広い校庭に溢れるばかりの樹また樹、豊富な教材と天候に恵まれ二五人の受講生は精一杯技能の修得に汗をかいていました。

(2) ビルクリーニング講習会

十月二十四日から十一月二日まで

川崎区の県施設サンライフ川崎で開催しました。

今年で三年目を迎えるこの講習会は、講師の先生の指導も良く、最終日には施設の隅々まで見違えるほどの輝きで、施設から感謝の言葉をいただき更に張り切る参加者も見えました。

参加者 二五人



植木講習会

(3)ホームヘルパー

3級講習会

7月号で案内しました講習会は定員三〇人のところ五倍の応募者があって関心の深さを示しました。

講義と実技そして同行訪問・施設見学と目的別に多彩な内容で参加者からは、「高齢者への関わりには表面的なとらえ方を

しがちですが、その奥にかくれている気持ちを汲み取る事が大事であることを勉強した。」「頭で分かっているつもりでも実際にやってみると何もわかっていないことに気づいた。」等々の意見があつて講習会の成果がうかがうことが出来ました。

参加者 三〇人 (九月七日(木)から一〇月十九日(木)まで)



実技 シーツのたたみ方

講習会のご案内

センターでは家事援助サービスをより深く理解する為に次の講演会を開催します。

(1)二月二〇日(火) 午後六時半～八時迄

「痴呆について」 今井 幸充先生

エポックなからはら (第三会議室)

定員 二〇名

(2)二月二六日(月) 午前十時～十二時

「レクリエーション」 伊豫部 倫助先生

エポックなからはら (第三会議室)

定員 二〇名

(3)三月八日(木) 午前十時～十二時

「我らいきいきライフ」 福芝 康裕氏

エポックなからはら (第三会議室)

定員 三〇名

◎申 込 電話またはFAX (抽選・無料)

◎問い合わせ 川崎区堤根三四―十九

川崎市シルバー人材センター

南部事務所 電話 二二二―一五五〇

FAX 二二二―一五五三

◎締め切り (1)及び(2)二月十二日(月) (3)二月二十日(火)

平成13年
配分金支払日

1月22日(月)
2月15日(木)
3月15日(木)
4月16日(月)
5月18日(金)
6月15日(金)
7月16日(月)
8月16日(水)
9月17日(月)
10月15日(月)
11月15日(木)
12月17日(月)

区民祭に参加しました

川崎市では毎年、各区ごとに区民祭を開催して地域の人々とのふれあいを通して町づくりの一助としています。シルバー人材センターも、この



趣旨にそってセンターの存在や活動状況を地域の人々に知っていただき、地域社会に支えられた事業の発展につながればと考え、この催しに参加し出店をいたしました。幸いにして多くの会員が参加されて、おおいにセンターのPRをしていただくと共に、会員相互の親睦をはかることができました。

それでは、各区の区民祭の様様をご紹介します。

幸区民祭

平成12年10月15日(日)

今年もセンターをより多くの方に知っていただくため、幸区民祭へ参加をしました。会員20名と職員が一丸となって、パネルによるセンターの説明とパンフレット・ティッシュ配付をしました。用意した1,000セットは、あっという間に配り終わりました。

高津区民祭

平成12年7月29日(土)

20世紀最後の高津区民祭は、炎天下のなか行われました。

当日は朝から強い日差しに照りつけられましたが、米をふかす人、現場まで運ぶ人、杵でつく人、餡をつける人、販売する人と、各人が汗みどろになりながら頑張り、予定したお餅は全て完売しました。



麻生区民まつり

平成12年10月8日(土)

前日と当日は、朝早くから多くの会員が準備に精を出し、長寿餅の販売に臨みました。

「長寿餅」は最近では区民祭の名物の一つとなり毎年区民から喜ばれて、今年も発売前から長蛇の列が出き、700パック完売するまでその列はとぎれませんでした。

会員の餅つき姿に自然と掛け声が出て、若者には負けない活気溢れる光景が見られました。

シルバー人材センターから支払われる配分金は、所得税法上「雑所得」となり、原則的に確定申告が必要になります。

ただし、平成12年度中の収入が配分金の場合、配分金額が103万円以上〔老年者（注1）に該当する方は153万円以上〕の方は、税務署に確定申告する必要はありません。

また、平成12年中の収入が配分金と公的年金の場合、下の速算表で算出した公的年金の雑所得の額と、配分金から65万円（注2）を差し引いた額の合計額が103万円以上〔老年者に該当する方は153万円以下〕の方も、税務署に確定申告する必要はありません。

しかし、平成12年中に配分金と公的年金以外に他の収入がある場合は、税務署に確定申告する必要があるかどうかは計算しないとわかりませんので、最寄りの税務署にお尋ねください。

なお、配分金が103万円を超える方は、扶養親族・控除対象配偶者に該当しなくなりますので、ご注意ください。

（注1）昭和11年1月1日以前に生まれた方で、合計所得が1,000万円以上の方

〔平成12年分公的年金等に係る所得金額の速算表〕

受給者の生年月日	公的年金等の収入金額の合計額 A		公的年金等の雑所得の額
昭和11年1月2日 以降に生まれた方	130万円未満		A-700,000(赤字は0)
	130万円以上	410万円未満	A×0.75 - 375,000
	410万円以上	770万円未満	A×0.85 - 785,000
昭和11年1月1日 以前に生まれた方	770万円以上		A×0.95 - 1,555,000
	260万円未満		A-1,400,000(赤字は0)
	260万円以上	460万円未満	A×0.75 - 750,000
以前に生まれた方	460万円以上	820万円未満	A×0.85 - 1,210,000
	820万円以上		A×0.95 - 2,030,000

※税務署確定申告の必要がない場合でも、住民税の申告が必要となる場合がありますので、その際は各区役所までお問い合わせください。

事務局通信

平成12年度中にセンターで仕事をされた会員の方全員に「配分金支払証明書」を送付いたしますので、所得税の確定申告の際に使用してください。「配分金」の所得税法上の取扱いについては、左記のとおりとなります。

問合わせ先

川崎南税務署
☎222-7531
川崎北税務署
☎852-3221
川崎西税務署
☎965-4911

明けまして

おめでとうございます

平成十三年が、皆様にとって良い年となることを祈念しております。今年も宜しく願います。

職員一同

平成12年度

シルバー人材センターのつどい

◆とき
平成13年2月17日(土)
開場:午後1時
開演:1時30分

◆ところ
エポックなかはら
(南武線武蔵中原駅下車徒歩1分)



第1部

式典・会員及び企業表彰

第2部

漫才:青空 球児
好児
曲芸:中国雑技団

表紙 撮影:玉川恭治氏
書:一瀬友子氏

皆様お誘い合わせの上ご来場下さい。

平成12年度

シルバー人材 センターの つどい



◆とき

平成13年2月17日(土)

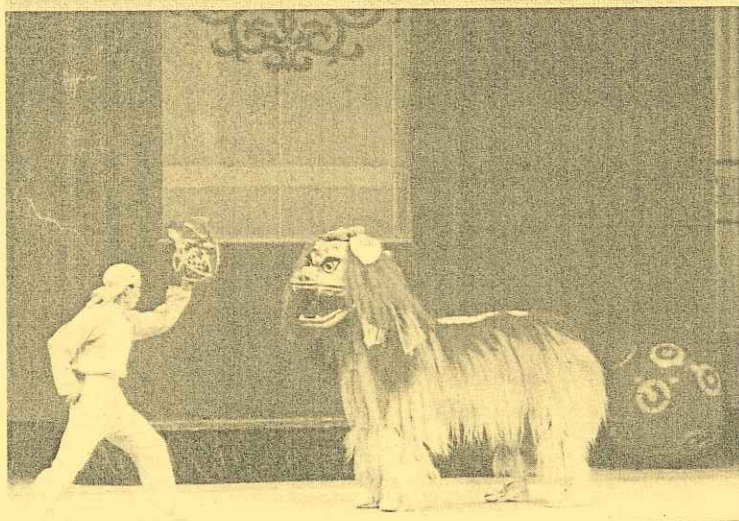
開場:午後1時

開演:1時30分

◆ところ

エポックなかはら

(南武線武蔵中原駅下車徒歩1分)



第1部

式典・会員及び企業表彰

第2部

漫才:青空 球児
好児

曲芸:中国雑技団

◎参加品は全員の方にお渡しします。 ☆自動車でのご来場は、ご遠慮ください。

財団法人 川崎市シルバー人材センター

〒210-0026 川崎市川崎区堤根3-4-19 ☎222-1550

お詫びと訂正

今回お送りいたしました『シルバーかわさき 第13号』に誤りがありましたので訂正させていただきます、お詫びいたします。

(誤)

(正)

6ページ・三行目	103万円以上	以下
四行目	153万円以上	以下
七～八行目	103万円以上	以下
(注1)昭和11年～	1,000円以上	以下

お詫びと訂正

今回お送りいたしました『シルバーかわさき 第13号』に誤りがありましたので訂正させていただきます、お詫びいたします。

(誤)

(正)

6ページ・三行目	103万円以上	以下
四行目	153万円以上	以下
七～八行目	103万円以上	以下
(注1)昭和11年～	1,000円以上	以下

お詫びと訂正

今回お送りいたしました『シルバーかわさき 第13号』に誤りがありましたので訂正させていただきます、お詫びいたします。

(誤)

(正)

6ページ・三行目	103万円以上	以下
四行目	153万円以上	以下
七～八行目	103万円以上	以下
(注1)昭和11年～	1,000円以上	以下